

今日から始める  
自然観察

# 昼とはガラリと変わる 植物たちの夜時間



にった ころえ  
新田 梢  
麻布大学  
生命・環境科学部  
環境科学科 助教

暑い夏には、夜の植物観察はいかがですか？ 昼とは違った姿を見せてくれる植物たちがあります。昼には気が付かなかった、新しい発見があるかもしれません。

## 夜に咲くカラスウリ

夏の夜に白く浮かぶようにみえるカラスウリの花を観察してみましょう！ 球状のつぼみからレース状の花が、18～19時ごろから開きはじめ、30分～1時間ほどの間に一気に開花します。とても細かいレース状の花びらが広がる様子は神秘的です。

甘い香りを出し、細長い筒に蜜がたまります。そこにスズメガの仲間が訪れ、長い口吻で蜜を吸います。雄株に付く「雄花」と、雌株に付く「雌花」とがあり、スズメガの仲間が雄花から雌花に移動する際に花粉が運ばれます。翌朝には完全にしぼんでいます。

一日花



カラスウリとシモフリスズメ (写真：奥山雄大)



カラスウリの雄花。白くレースのような花びらは夜でも目立ち、スズメガを誘う



雄花



雌花

カラスウリは雌雄異株で、実がなるのは雌株のみ (写真：福原達人)



(上) カラスウリのつぼみ  
(下) カラスウリの実。秋に赤く熟す



キカラスウリの花。閉じる時刻はカラスウリに比べ遅く、翌朝や昼ごろまで咲く (写真：福原達人)

夜に咲くのはどんな花？

夕方から開く夜咲きの花には、一度咲いたら数日咲いている花のほか、カラスウリやユウスゲのように一晩しか咲かない一日花もあります。植物によって花の咲く時刻や寿命が違います。

花が夜に咲くのは、夜行性の昆虫や哺乳類が花に訪れることが関係しています。日本在来で、夜に花を咲かせる植物には、夕暮れから夜にかけてスズメガの仲間が訪れます。これらの花はスズメガが好む甘い香りを放ち、花の形は細長く、雄しべや雌しべが突き出ているなどスズメガの仲間の体に花粉が付きやすい特徴があります。

アメリカ大陸原産のサボテンの仲間には、月下美人やドラゴンフルーツのように、夜行性のコウモリが訪れる夜咲きの花もあります。

夜に眠る植物もいる？

夜に外に出ると、葉や花が閉じたり、垂れたり、まるで眠っているような植物に気が付くかもしれません。葉や花を昼に開き、夜に

## 夜に咲く花

夏、夕方から開く夜咲きの花は、暗い中で目立ちやすい白や明るいレモン色で、甘い香りを出す特徴があり、夜にスズメガの仲間が花を訪れます。

一日花

ユウスゲ (キスゲ)

夕方から開き、翌朝に閉じる一日花。明るいレモン色で、甘い香りを出し、スズメガの仲間が訪れる。本州以西の海岸や山地の草原に生え、6月から8月ごろが花期。同じ属のハマカンゾウやニッコウキスゲは朝に開花する



二日目は黄色!

スイカズラ

林縁や道端に生えるつる性植物。夕方に開花し、日中も咲いている。花色が開花初日は白、2日目以降に黄色に変わる。甘い香り。夜はスズメガの仲間、昼はハナバチやセセリチョウの仲間が訪れる



一日花

コマツヨイグサ

コマツヨイグサ、メマツヨイグサ、マツヨイグサ、オオマツヨイグサなどアメリカ大陸原産のマツヨイグサの仲間は、夕方から開き、翌朝にしぼむ。夜行性のスズメガが訪れる

## 夜に眠る? 植物

葉や花が夜に閉じて眠っているようにみえる「就眠運動」。代表的な例がマメ科の植物の葉で、野外ではクズ、シロツメクサ、ネムノキなどで観察できます。また、キク科の花、カタバミの花と葉、コミカンソウの葉でも夜に閉じる様子が観察できます。

花が!



タンポポ

葉っぱが!



シロツメクサ

クズ

夜に葉が垂れる。マメ科の中でも大型の葉で、山野の林縁や街中でもよく見られるため、夜の観察がしやすい



昼

葉っぱが!



日没後

花だけ!



昼



夕方日没前

葉っぱも!



日没後

カタバミ類

カタバミ科も葉や花を夜に閉じる。くもりの日は花があまり開かない。写真のムラサキカタバミは、夕方花だけ閉じ、日没後に葉も閉じた

**EPSON**

本コーナーは、エプソン純正カートリッジ引取回収サービスを利用されたお客様のポイント寄付によるご支援をいただいております。

閉じる運動を「就眠運動」と呼びます。夜に葉や花を閉じるのは、エネルギー消費や水分蒸発を抑えるため、低温や夜露から守るため、草食者から食害されにくくするためなどの理由が考えられています。また、チューリップやクロッカスの花の就眠運動は温度によつて、タンポポなどキク科の花の就眠運動は光によつておこるとされています。

植物が何を頼りに咲く時間や閉じる時間を決めてるのは、植物の種類によつて異なり、実はまだ謎が多いのです。光、温度、体内時計による制御、さらに、これら複数の要因が関係している場合もあります。若い葉は活発に開閉するなど、成長の程度によつて変わることもあります。気になった植物が、いつ、どんな条件で、開いたり閉じたりするのか、ぜひ観察してみてください。